

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年8月10日
作成 高齢者支援センター	鶴川第2
作成者	鈴木 智明

1.開催日時	2023年8月3日	(木)	19:00	～	20:30
2.会場	オンライン				
3.主催センター	鶴川2	・	鶴川1	・	
4.参加人数	25人				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 7人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 2人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 3人 (うち、医師 人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 9人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人		<input type="checkbox"/> 老人会 人		<input type="checkbox"/> 住民 人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人		<input type="checkbox"/> 警察 人		<input type="checkbox"/> 行政 3人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (医薬卸 1)				
6.開催テーマ	鶴川圏域合同地域ケア推進会議「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために今、私たちができることは？」に向けて				
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>鶴川圏域の地区別人口動態から、圏域の人口推移について確認すると、高齢者数、高齢化率共に上昇傾向にある。独居や社会的孤立により、医療や介護保険でのサービスを利用する事により生活が行えている地域住民が多く存在している。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>鶴川地区には災害時の医療拠点が少ない、災害発生時の避難宿泊施設も13か所である。その中で、災害発生時に医療や介護サービスを各事業所は速やかに提供できる体制整備が必要とされるが、各事業所とも体制整備に繋がるBCP策定に現状苦慮している。各事業所においてBCP策定と共に、他事業所との連携体制の構築を進める事により、災害発生時でも市民へ早期のサービス再開を図る為の体制整備が求められる。</p>				
8.会議の内容	<p>○報告事項</p> <p>・フレイル予防リーフレット・レシピ設置状況の報告。レシピについて、圏域外での活用時は、発行「鶴川管理栄養士の会」、問合せ先「高齢者支援センター」として発信していく。</p> <p>・災害時用連絡名簿検討部会からの報告：本日2回目を実施。福祉用具事業所より、停電時に注意が必要な福祉用具や医療機器の取り扱いについてご教示いただき。今後、ケアマネカフェやサービス担当者会議を活用しながら周知していく。圏域の介護事業所あてにBCP作成状況を、CMあてに災害時の対応を話し合っているかを確認するアンケート調査を今月実施し、次回の会議で発表する。</p> <p>○今年度の地域ケア推進会議「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために今、私たちができることは？」について協議</p> <p>・当日までのスケジュールを確認。本番の日程を11/17または11/24で災害医療コーディネーターの村野先生に打診をする。</p> <p>・当日の次第案に基づきタイムテーブル(案)を確認、調整。</p> <p>・災害時個別避難計画について、鶴川圏域がモデル地区となっていることを共有。</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>2023年11月開催予定の圏域合同地域ケア推進会議「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために私たちにできることは？」に向けて、介護事業所向けにアンケートを実施し、BCPや災害時の安否確認リストなどの作成状況、災害への意識調査を行う。</p> <p>当日は、町田市の災害医療コーディネーターである村野小児科アレルギー科院長村野氏から「町田市における災害時の医療体制 現状と課題」を、イワナガ大蔵薬局薬剤師鯨岡氏から「災害時の薬剤師の取り組みについて」それぞれ講演頂く。グループワークの内容、介護事業所における取り組みの発表については、9/14以降に調整をしていく。</p>				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日

8月14日